

エレバン市ヌバラシェン埋立処分場メタンガス回収・発電プロジェクト

1.事業内容

アルメニア共和国の首都・エレバン市にあるヌバラシェン廃棄物埋立処分場において、発生するメタンガスを回収し、回収したガスを利用して発電を行うことによって、温室効果ガスの排出を削減する CDM プロジェクトである。

2.持続可能な開発への貢献

処分場の悪臭発生の抑制、美化、火災の危険性の低下など様々な環境上の効果が期待される。

3.事業期間

クレジット期間として、2007年～2022年の16年を予定。

4.温室効果ガス排出削減効果

クレジット期間内に、温室効果ガスの排出が合計で216万t-CO₂削減できる見込み。

5.事業主体

清水建設株式会社、北海道電力株式会社、三井物産株式会社の3社が、特別目的会社を設立して事業を行う予定。

6.エレバン市位置図



7.現地写真

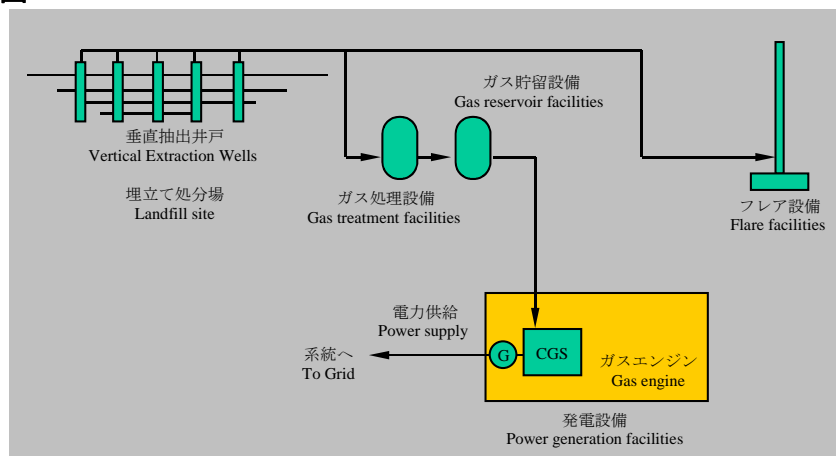


ヌバラシェン廃棄物埋立処分場



ヌバラシェン廃棄物埋立処分場

8.システム図



以上